

# 大阪日日新聞

1月10日(月)

2011年(平成23年)

## 地域の災害 対策話し合い

地震被災者ら交流会  
岩手・宮城内陸沖地震  
や新潟県中越沖地震

# 震災 16年

など全国各地の地震被災者やボランティアらが9日、兵庫県西宮市の関西学院大で被災地交流会を開催し、高齢者の多い中山間地域の災害対策などを話し合った。(3、17面に関連記事)

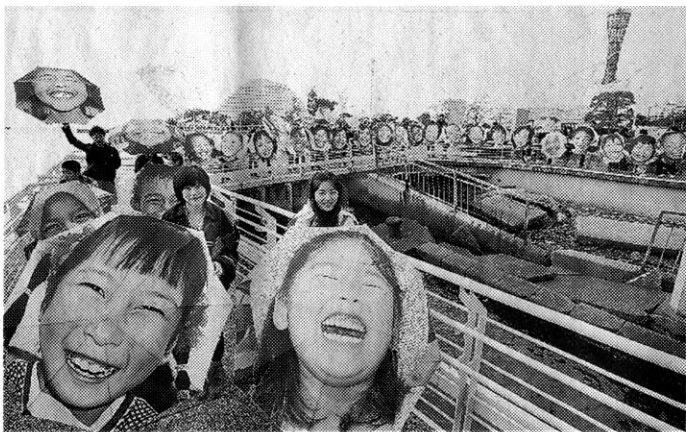
同大の災害復興制度研究所が主催する「復興・減災フォーラム」

## 「笑顔の傘」満開

神戸・震災メモリアルパーク

世界各地で撮影した子どもの笑顔を印刷した傘を広げ、希望と平和のメッセージを発信するアートイベント「メリーアンブレラプロジェクト」が9日、神戸港震災メモリアル

パーク(神戸市)などで開かれた。北京五輪の開会式で同様のパフォーマンスを手掛けたアートディレクター水谷孝次さん(59)が主催。「子どもたちの笑顔は世界の希



笑顔の写真が印刷された傘を一齐に開く近藤穂花さん(中央)ら「メリーアンブレラプロジェクト」の参加者=9日、神戸市の神戸港震災メモリアルパーク

望です。3、2、1」。掛け声に合わせて、参加した高校生や大学生ら約50人が傘を開くと、鮮やかな笑顔が一齐に広がり、集まった観客から歓声が上がった。写真は水谷さんが阪神大震災や四川大地震などの被災地で撮影した。神戸市長田区の中学2年近藤穂花さん(14)は4歳当時の写真が印刷された傘を手に参加。長田区で被災した母親の徳子さん(40)は「震災後に生まれた娘が家族にとって希望でした」と語った。

水谷さんは「神戸は初めて『負の遺産』を舞台上で撮影した場所。不安もあったが、屈託のない子どもたちの笑顔に救われた」と話した。